

大更コミセン映画上映会

令和8年3月18日(水)は映画三昧の日
3本立て一挙上映(入場無料)

年末に映画「同胞」の公開50周年を記念する同窓会が、盛岡市の映画館“フォーラム盛岡”で行われ、関係者が山田洋次監督や主演俳優の倍賞千恵子さんを囲んで撮影秘話や思い出話に花を咲かせた記事を見た皆さんからのリクエストにお応えし、今回の上映となりました。

1975年公開の作品で、松尾村の青年会が東京の劇団の公演の実現に向けて奮闘する姿を描いた一部実話を基にした物語。

地元の青年会メンバーら多くの住民が作品に出演しています。

ちなみに、同作品は昨年6月に上映しており、今回で2回目となります。

一本目

「同胞」

監督：山田洋二 舞台：旧松尾村
出演：倍賞千恵子、寺尾聰
上映時間：9：45～12：00(127分)



注1) 出入り自由で、どの時間帯でもご鑑賞いただけます。
注2) 各作品のご鑑賞人数を把握するため、下記よりお申込みください。

二本目

「男は愛嬌」

出演：渥美清、倍賞美津子、寺尾聰、沖山秀子
上映時間：12：45～14：15(87分)

「男はつらいよ・フーテンの寅」に続くバイタリティーあふれる森崎東の喜劇。自分の恋人が実はコールガールだと憶測してやきもきする男の純情が、笑いと哀愁を呼ぶ。鑑別所帰りの不良少女を倍賞美津子が、人のいい寅さんを思わせる船乗りを渥美清が演じている。

三本目

「まえがみ太郎」

上映時間：14：30～16：00(87分)

大晦日の夜、行き倒れた旅人を救った老夫婦は、翌日の元旦の朝、赤子を山のふもとで拾う。それは旅人の正体である“お正月さん”が心優しい夫婦に託した神の子だった。やがて子供は成長し“まえがみ太郎”と名づけられた。あるときドー山に分け入った太郎は、火の鳥に自分がふたび飛び立つために必要な“なにか”を太郎に探してくれるよう願う。松谷みよ子の児童文学の名作をスペシャル番組としてアニメ化。

【お問合せ・お申込先】大更コミュニティセンター 電話：76-4069 FAX：70-1851

きりとり線(FAXの方は切り取らずにご送信ください)

行政区		氏 名	
連絡先			
ご鑑賞希望作品に○を記載	・ 1 本目	・ 2 本目	・ 3 本目